

社会に貢献

自由な立場でイベントなどを企画 近隣対策など貴重な体験も生かす

「大 阪市役所を定年退職した後、民間企業も経験した。その先の生きがいを見つけたいと思った矢先にシビルベテランズ&ボランティアズ (CVV) の組織を知った。かつての経験を生かせる自分にふさわしい場だと感じた」。金山正吾さん (70歳) はこう振り返る。

CVVは、主に土木の仕事にかかわってきたベテランの集まりだ。1998年10月に決起集会を開催。社

会見学をはじめとする企画を展開してきた。土木に関する活動を通して社会に貢献することが目的だ。

活動母体はアドバイスグループとまちづくりグループに大きく分かれる。金山さんが参加するのは前者。2003年からは事務局長も務めている。金山さんの名刺の裏には活動内容が記されている。建設関係のトラブル解決へのアドバイス、土木技術に関する相談、市民向け社会基盤見

学会の主催、子供の体験学習へのサポート——の四つだ。

大阪市の舞洲^{まいしま}の見学、はしを利用して橋の模型を作る子供向けの催し物などイベントの主催は軌道に乗った。しかし、金山さんは「本当に手がけていきたい近隣のトラブルへの助言や土木技術の相談については、まだ道半ば」と話す。

金山さんは大阪市に在職した34年間の多くを地下鉄の建設に費やした。路線計画から設計や施工計画、施工監理までひと通り経験した。「街なかの事業では地元対策などで様々な人との交渉を通して精神修養もできた。単に学問としての技術だけではなく、人とのやり取りなど人

(次ページへ)

「近隣のトラブルに経験を生かせる」



金山 正吾さん
(シビルベテランズ&ボランティアズ事務局長)

かなやま・しょうご (1934年12月生まれ) 70歳

58年 (24歳)	大阪大学工学部構築工学科 (後の土木工学科) を卒業して大阪市に入庁。交通局高速鉄道建設部計画課に配属
67年 (33歳)	同局高速鉄道建設本部建設部の建設事務所や土木課の係長を歴任
72年 (38歳)	一級土木施工管理技士
76年 (42歳)	同部第一建設事務所長に
77年 (43歳)	技術士建設部門 (施工計画、施工設備および積算)
81年 (47歳)	同部土木課長に
85年 (51歳)	総合計画局や港湾局で副理事を歴任
92年 (58歳)	同市を定年退職後、2002年まで建設会社と建設コンサルタントに勤務
98年 (64歳)	シビルベテランズ&ボランティアズ (CVV) に参加
2003年 (69歳)	CVV事務局長に 中央工学校・中央実務専門学校の講師に